

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-100	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	英 I 341	be English Expression I Advanced		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法第2条の求めるところは、「道徳心を基盤とする学びの態度を身につけた、未来を切り開く主体性のある日本人を育成すること」であると捉え、そのことこそが、生徒の「生きる力をつける教育」につながるという考えのもとに、第2条の1～5号について、次のように教科書の構成に反映させたことが編修の趣旨である。

1号 (真理を求める態度・道徳心を培う)

⇒①英語素材には、高校生にとって身近な学校生活のほか、日常・社会・ビジネス・自然環境など、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げる。②外国語の学習に必要な様々な側面を提示し、言語の統合的な理解を促す。③相手の気持ちを配慮しつつ意図を円滑に伝達するための知識やタスクを含める。

2号 (勤労を重んずる・自立心を養う)

⇒①社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法 (パラグラフライティング・プレゼンテーション・スピーチ・ディスカッションの基礎) の知識を提供する。生徒の発達段階を考慮しつつ (義務教育段階での学習内容の確実な定着も含む)、②生徒自身が目標を発見し、自ら学習意欲を向上させることを促し、③学習習慣をつけることのできる構成とする。

3号 (社会形成に参画する)

⇒生徒に親しみやすいテーマを設けて、クラス内で積極的な発言を促すタスクを課すことで、身近な社会形成に参加する喜びを与える。

4号 (環境保全に寄与する)

⇒自然や環境などのテーマについて調査・発表・議論するタスクを設け、思考力・判断力、表現力等を育む。

5号 (自国・他国の尊重)

⇒①異文化コミュニケーションをする上で有用な知識を提供し、言語や異文化に対する理解や関心が深まるように促す。
②また、日本人が外国を訪れたとき、またはその逆に外国人が日本を訪れた場合に、しばしば出会う場面を想定し、実際にどのように相手を尊重しながらコミュニケーションを行えばよいのかを学ぶ素材を提供する。

2. 編修の基本方針

編修の趣旨に基づき、具体的には、次のように紙面デザインに反映させることを基本方針とした。

1号: ①各レッスン4頁目には、生徒にとって身近で、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げた。②言語を統合的に理解できるように、各レッスン1頁目には、「Small Talk (会話)・文法・機能 (言語の働き)・発音」の学習欄を設けた。③各レッスン4頁目の Listen and Speak は、相手の気持ちを配慮し、意図を円滑に伝達する方法を学ぶ場とした。

2号: ①本文コラムで、社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法 (パラグラフライティング・プレゼンテーション・

スピーチ・ディスカッションの基礎)の知識を提供した。②各レッスン1頁目にTARGETS、裏見返しにSTUDY FLOWを設けることで、常に生徒自身が具体的な学習目標を意識し、自ら学習意欲を向上させることができるように工夫した。③各レッスン1頁目では、当該レッスンで扱う学習項目の解説をし、その記述を生徒にとって分かりやすいものにする一方で、主体的に予習・復習する学習習慣をつけることができるように工夫した。

各レッスン1頁目

1号: ②Small Talk・文法・機能・発音の学習欄を設け、言語の統合的な理解を促す

2号: ③生徒が主体的に予習・復習する学習習慣をつけることができるように、学習項目の解説を工夫した

2号: ②各レッスン1頁目にTARGETSを設けて、生徒自身が目標を発見し、自ら学習意欲を向上させることを促す

2号: ①勤労に従事する際に有用な、伝達手法の知識を提供する

裏見返し

本文コラム

2号: ②レッスンごとの学習目標を一覧で確認させる

2号: ②ゾーンごとの学習目標を意識させる

スピーチをしてみよう!

Speech

3号: 各レッスン3頁目のConversationでは、生徒に親しみやすいテーマで表現させ、発表・共有を促すことで、身近な社会参加を体験させる。同様に、各レッスン4頁目のPair WorkとGroup Workでも社会参加・形成の喜びを体験させる。

4号: 各レッスン4頁目では、Read and Writeのいくつかで自然や環境などのテーマを取り上げ、それについて調査・発表・議論するタスクを設けた。

各レッスン2、3頁目

Lesson 1 Grammar and Expressions

現在形

現在形で現在の状態を表す

- ① Like cats very much. (心算的な状態)
- ② My uncle has two cars. (一般的な状態)

状態を表す動詞(継続動作)の現在形

心算的な状態を表す動詞: believe, hope, know, like, think, understand, want など

一般的な状態を表す動詞: belong, contain, have, live, look, seem, etc.

例: 王様が王座で赤い服を着ている。 He likes dogs. (三単現のみ)

現在形でいつもすることを表す

- ③ My father drives to work. (習慣的な動作)
- ④ The earth goes around the sun. (変らぬ事実)

動きを表す動詞(動作動詞)の現在形

I usually buy my clothes at this shop. (頻度を表す)

頻度を表す動詞: always, usually, often, sometimes, rarely, never など

My mother runs a small restaurant. (仕事を表す)

現在進行形でいる最中であることを表す

- ⑤ I'm waiting for the bus. (今話している)
- ⑥ My sister is studying Spanish these days. (最近している)

現在進行形: am/is/are + 動詞のing形

例: I read the newspaper every morning. / I'm reading the newspaper now.

実行形は動作や変化を表す。変化のない状態の場合は現在形にしない。

She's living in New York. (一時の状態)

The weather is getting worse. (変化している)

He's always complaining about something. (繰り返して「〜してはくさい」)

always, constantly などの程度が高いことも表現する。

現在形と現在進行形でこれからのことを表す

- ⑦ The express train leaves at noon. (確実にある)
- ⑧ I'm seeing Bill tonight. (しよらしている)

現在形: 将来の行動の意図や確信など。変化がほとんどない確信のある予定

The president goes to London next Monday. (決定的な予定)

現在進行形: 変更されることのある個人の予定(準備を進めている、その日になったりしている)

頻度を表す副詞の使い方

頻度を表す副詞は動詞のあと、動詞の前、動詞や動詞のあとに置かれる。

always → usually → often → sometimes → rarely → never の順に頻度が下がっていく。(100% → 0%)

Exercises

[1] Choose the correct verb and change it to the present tense.

1. My uncle () in my neighborhood.
2. My father () fixed these dogs.
3. My mother () to buy an electric bicycle.
4. My brother and I () to the local cycling club. (belong / live / look / want)

[2] Complete the sentences.

1. 私はいつも学校にお弁当を持っています。 I always () my lunch to school.
2. あなたの家族では、もうすぐ新しい犬を飼っていますか。 Who usually () the dog in your family?
3. 私の父は出版業界で働いています。 My father () for the publishing industry.
4. あなたの父は、もうすぐあなたの部屋を掃除していますか。 Do you know why he () his son's room?

[3] Change the verbs in brackets into the correct form.

1. My mother () with her friends over tea now. [chat]
2. Will you turn down the music? The babies () sleep.
3. He () a new music video this week. [make]

[4] Arrange the words in the correct order.

1. 私の母は、いこの結婚式に参ることに決まっています。 (the day / my cousin's wedding / I'm / after / attending / tomorrow)
2. 11時の飛行機に1階にエレベーターが到着しました。 (eleven o'clock / Heathrow Airport / at / arrives / the plane / at)
3. 避難所今日、被災地を訪れる予定です。 (the disaster area / visits / the Prime Minister) today.

[5] Translate the sentences into English, using the words in brackets.

1. 友達にとてもよく似ています。 [closely resemble]
2. 私流の、この映画を愛しています。 [change trains]
3. マットとサムエルは一緒に旅行に行く予定です。 [around / roommate]
4. あなたの今日の英語、何となく、[after school]

My Sentences

例文の文法構造をコピーし、自分のオリジナル英文をつくらせよう。

1. 現在の状況。
2. いつかすること。
3. している最中。
4. 決定している予定。

例: I'm doing my homework now.

3号:各レッスン3頁目のConversationでは、生徒に親しみやすいテーマで表現をさせ、クラスで発表・共有したりすることで身近な社会形成を体験させる

各レッスン4頁目

Practice Self-introductions

Get Ready (現在形・現在進行形)

- ① Listen and fill in the blanks.
- ① I _____ and _____ at home.
- ② I always _____ for breakfast.
- ③ My mother _____ at a high school.
- ④ _____ these days.

上の文を声に出して読んでみよう。

Listen and Speak (現在形 ②: あいづちを打つ)

- ① Listen and fill in the blanks.
- ① A: I like rock music. I _____ in a band.
- B: Wow, _____!
- ② A: I _____ to the movies.
- B: _____? Don't you like movies?
- A: Yes, I do. I _____ and watch them on TV.
- B: _____

上の文を声に出して読んでみよう。

Read and Write (現在形)

- ① Read and complete the passages with the words below. Change the form if needed.
- ① Hello, everybody. Let me introduce myself. My name () Andrew Smith, but please () me Andy. I () from LA, in the United States. I'm very happy to be here. Thank you.
- ② I'll tell you about my morning routine. I () up at seven in the morning, and I () my face and get dressed. I always () a traditional Japanese breakfast with my family. I () home at eight and go to school at eight-thirty.
- [be / call / come / get / have / leave / wash]
- ③ 上の文を書き写してみよう。

Group Work

① ②の会話(1)の「興味深い」「興味深い」「興味深い」などを取り込んで、自己紹介をしてみよう。また、morning routineやevening routineについて話してみよう。

(Vocabulary and Phrases)

- come from A Junior High School → walk to school → go to school by bus [bycycle]
- go to my club activities → leave school → go to cram school → watch TV → walk the dog → water the plants → take care of → take a bath [shower]
- brush my teeth

1号:③Listen and Speakで、相手の気持ちを配慮し、意図を円滑に伝達する方法を学ぶ

4号: Read and Writeで、自然や環境などのテーマについて、調査・発表・議論をする

1号:①生徒にとって身近で、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げた

3号:生徒に、Pair Work と Group Work を行わせることで、クラスルームを通じて社会参加・形成の喜びを体験させる

5号:①

5号:②

本文コラム

COMMUNICATION TIPS 1

ノンバーバル・コミュニケーション

私たちはしばしばコミュニケーションする際に、相手の感情、声の大きさ、顔の表情、姿勢、ジェスチャーなどによっていろいろな意味を感じています。中でもジェスチャーは最もわかりやすい。英語圏では日本人と異なる意味をもつジェスチャーがあります。

たとえば、「ノド」(nod)を日本人は「相手の話を聞いている」という意味として理解していますが、英語圏では必ずしも同じではありません。また英語圏では「相手の話を聞いている」という意味として理解するよりも、同意を示すジェスチャーとして使われることが多くあります。

また、「Come here!」(こちらへおいで)というジェスチャーは、手を前に出して「おいで」という意味として使われます。英語圏では「おいで」という意味として使われることが多くあります。

また、英語圏では「自分」を指すジェスチャーとして、自分の胸を指すジェスチャーを使います。英語圏では「自分」を指すジェスチャーとして、自分の胸を指すジェスチャーを使います。英語圏では「自分」を指すジェスチャーとして、自分の胸を指すジェスチャーを使います。

文化によって個人間の取り方やジェスチャーの伝え方が異なる場合があります。文化によって個人間の取り方やジェスチャーの伝え方が異なる場合があります。

場面別英語表現

増設 英語表現

Scene 5 道をたずねる

Model Dialogue

A: Excuse me. Could you tell me how to get to the City Hall?

B: Sure. Go straight and turn right at the second corner. You'll see it on your left.

A: Thank you. Is it far from here?

B: Not so far. It's about a ten-minute walk.

A: Thank you very much.

B: You're welcome.

A: すみません、道がわからずやうに聞いています。どうやって行けばいいですか。

B: はい、大丈夫です。まっすぐ行って2つ目の角で右に曲がってください。そこが左手に見えます。

A: ありがとうございます。ここから遠いですか。

B: それほど遠くありません。歩いて10分くらいです。

A: どうもありがとうございます。

B: どういたしまして。

Expressions

- I'll show you the way. (私が案内します)
- Sorry, I'm a stranger here myself. (すみません、私もこの街に慣れていません)
- Go to that intersection and cross the street. (その交差点を横断してください)
- It's at the end of the street. (その街の突き当たりです)
- You'd better take a taxi. (タクシーに乗ることをおすすめします)
- Where am I now? (ここはどこですか)
- Could you tell me the way to the station? (駅までどうやって行けばいいですか)
- How can I get to this address? (この住所へどうやって行けばいいですか)
- Would you show me the way on this map? (この地図で案内していただけますか)
- Can I walk down there? (そこを歩けますか)
- How far is it from here? (ここからどのくらい遠いですか)
- Is there a convenience store around here? (ここにはコンビニエンスストアがありますか)
- Is this the right way to the British Museum? (ここが大英博物館の正しい道ですか)

Words and Phrases

- a crosswalk (横断歩道) = an intersection (交差点) = a sidewalk (歩道) = a landmark (目印)
- a bus stop (バス停) = a bicycle lane (自転車専用レーン) = a tourist information center (観光案内所)
- a streetcar (路面電車) = a shuttle bus (シャトルバス) = go past (〜を過ぎて) = stop from (〜を止める) = need to (〜が必要) = behind (〜の後ろ)

● I'll show you the way. (私が案内します)

● Sorry, I'm a stranger here myself. (すみません、私もこの街に慣れていません)

● Go to that intersection and cross the street. (その交差点を横断してください)

● It's at the end of the street. (その街の突き当たりです)

● You'd better take a taxi. (タクシーに乗ることをおすすめします)

● Where am I now? (ここはどこですか)

● Could you tell me the way to the station? (駅までどうやって行けばいいですか)

● How can I get to this address? (この住所へどうやって行けばいいですか)

● Would you show me the way on this map? (この地図で案内していただけますか)

● Can I walk down there? (そこを歩けますか)

● How far is it from here? (ここからどのくらい遠いですか)

● Is there a convenience store around here? (ここにはコンビニエンスストアがありますか)

● Is this the right way to the British Museum? (ここが大英博物館の正しい道ですか)

5号:①本文コラムのCOMMUNICATION Tips 1~4で、異文化コミュニケーションをする上で有用な知識を提供し、言語や異文化に対する理解や関心が深まるように促す。

②「場面別英語表現 Scene 1~9」で、日本人が外国を訪れたとき、またはその逆に外国人が日本を訪れた場合に、しばしば出会う場面を想定し、実際にどのように相手を尊重しながらコミュニケーションを行えばよいのかを学ぶ素材を提供する。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
Practice	生徒にとって身近で、偏りのない多様なテーマや場面を取り上げた。 (第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。)	各レッスンの1頁目
Small Talk, Grammar, Function, Sound Check	言語の統合的な理解を促す。 (第1号)	各レッスンの1頁目
Listen and Speak	相手に配慮し、意図を円滑に伝達する方法を学ばせる (第1号)	各レッスンの4頁目
・スピーチをしてみよう！ ・パラグラフを書いてみよう！ ・ディスカッションをしてみよう！ ・プレゼンテーションをしてみよう！	勤労に従事する際に有用な、伝達手法の知識を提供する。 (第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。)	・56頁 (スピーチ) ・88頁 (パラグラフ) ・114頁 (ディスカッション) ・136頁 (プレゼン)
・TARGETS ・STUDY FLOW	生徒に具体的な学習目標を意識させ、学習意欲を向上させる。 (第2号)	・各レッスンの1頁目 ・裏見返し
Grammar, Function, Sound Check の解説	生徒に主体的な自主学習の習慣を身につけさせる。(第2号)	各レッスンの1頁目
・Conversation ・Pair Work, Group Work	Conversation では、生徒に親しみやすいテーマで表現させ、発表・共有を促すことで、身近な社会参加を体験させる。同様に、Pair Work と Group Work でも社会参加・形成の喜びを体験させる。(第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。)	・各レッスンの3頁目 ・各レッスンの4頁目
・Read and Write, Group Work	自然や環境などのテーマについて、調査・発表・議論をさせる。 (第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。)	頁 82、124、134
COMMUNICATION Tips ①～④	異文化コミュニケーションをする上で有用な知識を提供し、言語や異文化に対する理解や関心が深まるように促す。 (第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。)	頁 32 ①、46 ②、104 ③、130 ④
場面別英語表現	日本人が外国を訪れたとき、またはその逆に外国人が日本を訪れた場合に、高い頻度で出会う場面を想定し、実際にどのように相手を尊重しながらコミュニケーションを行えばよいのかを学ぶ素材を提供する。(第5号)	頁 138～147

各レッスンの1頁目：

頁 15、19、23、27、33、37、41、47、51、59、63、67、71、75、79、83、91、95、99、105、109、117、121、125、131

各レッスンの2頁目：

頁 16、20、24、28、34、38、42、48、52、60、64、68、72、76、80、84、92、96、100、106、110、118、122、126、132

各レッスンの3頁目：

頁 17、21、25、29、35、39、43、49、53、61、65、69、73、77、81、85、93、97、101、107、111、119、123、127、133

各レッスンの4頁目：

頁 18、22、26、30、36、40、44、50、54、62、66、70、74、78、82、86、94、98、102、108、112、120、124、128、134

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

豊かな人間性、創造性の獲得に資するため、紙面全体を通じて美しく読みやすいフォントや、色彩豊かなデザイン、イラストを用いるように心掛けた。(学校教育法第51条)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-100	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	英 I 341	be English Expression I Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

英語の表現力を習得するのに必要な要素や視点（語彙・文法・機能・発音・場面・伝達手法など）について、文法エクササイズ・4技能を用いたタスクを通じて、学びやすい順序で適切な分量を提示するようにし、学習目標をレッスンごと、ゾーンごとに明示することで、生徒に英語で表現する意欲と主体性を持たせることに意を用いた。

基本シラバスは、中学校の学習内容の復習「Introduction (p.8)」に始まり、①導入→②基礎定着→③発展の3ステップ（4頁構成）を通じて英語表現を学ぶ構成とした。③の発展のステップでは、特に4技能を総合的に使いながら、情報を理解したり、生徒自らの考えを発信したりする力を養うことを主眼においた。

各レッスン内の①導入→②基礎定着→③発展の3ステップ（4頁構成）のそれぞれで採用したタスクでは、次のように、何を学ぶのか目的が明確で、紙面デザインも学習の開始からゴールまでの過程が分かりやすくなっていることが特色である。



●Introduction・・・中学校の学習内容を復習（p.8）。

●Lesson 1～25・・・①導入→②基礎定着→③発展の3ステップ（4頁構成）の各タスクで、英語表現に必要な要素を学習。

①導入(1頁目)			②基礎定着(2-3頁目) Grammar and Expressions / Exercises			③発展(4頁目) Practice					
タ ス ク	Small Talk	Grammar / Function	Sound Check	解説	Exercises	Conversatio n	Get Ready	Listen and Speak	Pair Work	Read and Write	Group Work
目 的	場面 理解	文法/機能の 理解	音の理 解	文法	文法の定着	表現基礎	聞き取り 発音	短めの 会話表現	短めの 自由表現	読解と表現	長めの 自由表現

●TARGETS・・・各レッスンの1頁目にそのレッスンの目標として、暗記すべき例文を提示。

●Grammar Guide ①～⑧

●スピーチ・パラグラフ・ディスカッション・プレゼンテーション

●COMMUNICATION TIPS ①～④

●場面別英語表現 Scene 1～9

●コミュニケーションのための英語表現 ①～③・・・表裏見返しに、教室の内外で実際に使える英語表現を掲載。

●STUDY FLOW・・・各レッスンのゴール及び、1st Zone～4th Zone の4段階の学習ゴールを一覧で提示。

2. 対照表

(ア) 図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」との対照表

Lesson	①導入 言語の働き／発音の関連	②基礎定着 文法との関連	③発展 言語使用場面との関連	該当箇所
1	あいづちで関心を示す /l/と/r/の発音	現在形	Self-Introductions 紹介	15-18
2	相手の発言を聞き直す /t/と/d/の発音	過去形と未来を表す表現	Holidays and Vacations 休日・休暇	19-22
3	相手に同意を求める /θ/と/v/の発音	現在完了形 (have/has+過去分詞)	Travel 旅行	23-26
4	話を切り出す ed の発音	・過去完了形 (had+過去分詞) ・未来完了形 (will have+過去分詞)	Study 学習	27-30
5	依頼を受け入れる・断る つながる音① (連結)	助動詞①	Meals 食事	33-36
6	勧誘する つながる音② (同化)	助動詞②	School 学校	37-40
7	確信したことを話す th の発音	助動詞③	Home 家庭	41-44
8	されたことを話す /ɔ:/と/ou/の発音	受動態 (be 動詞+過去分詞)	Transportation 交通	47-50
9	お礼を言う /m/の発音	動詞のあとの語順 (SVOO と SVOC)	Friendship 交友	51-54
10	「がんばれ」と言ってはげます /n/の発音	不定詞①	The future 将来	59-62
11	話しかける 弱い発音と強い発音 (弱形と強形)	不定詞②	Health 健康	63-66
12	理由をたずねる o の発音	不定詞③	Sickness 病気	67-70

13	承諾する・承諾しない /ŋ/の発音	動名詞	Hobbies and Activities 趣味・活動	71-74
14	提案する 消える音 (脱落)	不定詞と動名詞	Communications 通信	75-78
15	感情を表す /s/の発音	分詞①	Nature 自然	79-82
16	ほめる /Nと/e/の発音	分詞②	Accidents 事故・災難	83-86
17	謝る /æ/の発音	関係詞①	Invention 発明	91-94
18	お祝いを言う 語尾のsの発音	関係詞②	Achievements 成果・業績	95-98
19	感想を言う /u/と/u:/の発音	関係詞③	Cities and Towns 都市	99-102
20	同じだと言う /k/と/g/の発音	比較①	Living Environment 生活 環境	105-108
21	存在を伝える /eɪ/と/eɪ:/の発音	比較②	Social Problems 社会問題	109-112
22	助言を求める /i/と/i:/の発音	仮定法①	Business ビジネス	117-120
23	念を押す /ʃ/の発音	仮定法②	Energy エネルギー	121-124
24	感想をたずねる /eɪ/の発音	接続詞と接続副詞	Globalization グローバル 化	125-128
25	約束する /p/と/b/の発音	that 節	Our Planet 地球	131-134

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
●Listen and Speak ●Read and Write	4技能を総合的に育成し、的確に情報を理解したり、自らの考えを発信する力を養う。	各レッスンの4頁目
コミュニケーションのための英語表現①～③	授業をコミュニケーションの場面とするため、英語で行うことを基本とする。	見返し、裏見返し
●Sound Check ●発音記号と発音のしかた	音声指導の補助として、発音表記を用いて指導することができように、基本的な表記について指導する。	・各レッスンの1頁目 ・頁148, 149
●Vocabulary and Phrases (テーマごとに提示) ●Group Work	辞書の活用の指導などを通じ、生涯にわたって、自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度を育てるようにすること。(その他の例：図書館やインターネットなどを利用して情報を収集し、活用ができるように指導する)。視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを適宜指導に生かす。	各レッスンの4頁目 Group Work 頁82, 86, 94, 98, 102, 120でイ ンターネットや図書館 での調査を促す。
●Pair Work	指導にあたり、ペア・ワーク、グループワークなどを適宜取り入れる。	各レッスンの4頁目

●Group Work		
場面別英語表現	ネイティブの協力を得て行なうチームティーチングなどの授業を積極的に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力を育成するとともに、国際理解を深めるようにすること。	頁 138~147
COMMUNICATION TIPS ①~④	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	頁 32, 46, 104, 130
パラグラフを書いてみよう！	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫し伝える能力を養う。	頁 88
ディスカッションをしてみよう！	論理的な思考力や批判的な思考力を養う。	頁 114
●Pair Work ●Group Work	与えられた条件に合わせて即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。	各レッスンの 4 頁目
Conversation	読み手や目的に応じて、簡潔に表現する。	各レッスンの 3 頁目
Group Work	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。	各レッスンの 4 頁目
●TASK! ●Get Ready	リズムやイントネーションなどの音声特徴、話す速度、声の大きさに注意しながら話す。	・各レッスンの 1 頁目 ・各レッスンの 4 頁目
●Get Ready ●Listen and Speak ●Read and write の空所補充	要点を示す語句や文、つながりを示す語などに注意して書く。書いた内容は読み返す。	各レッスンの 4 頁目
●スピーチをしてみよう！ ●プレゼンテーションをしてみよう！	発表の仕方や発表に必要な表現を学習し、実際に活用する。	・頁 56 ・頁 136
●Group Work ●ディスカッションをしてみよう！	書いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。	・各レッスンの 4 頁目 ・頁 114

各レッスンの 1 頁目：

頁 15、19、23、27、33、37、41、47、51、59、63、67、71、75、79、83、91、95、99、105、109、117、121、125、131

各レッスンの 2 頁目：

頁 16、20、24、28、34、38、42、48、52、60、64、68、72、76、80、84、92、96、100、106、110、118、122、126、132

各レッスンの 3 頁目：

頁 17、21、25、29、35、39、43、49、53、61、65、69、73、77、81、85、93、97、101、107、111、119、123、127、133

各レッスンの 4 頁目：

頁 18、22、26、30、36、40、44、50、54、62、66、70、74、78、82、86、94、98、102、108、112、120、124、128、134

(イ) 申請図書の内容のまとめりに著作者が予定している配当授業時間数

配当時間	1 単元時間×25 レッスン=25 単元時間		1 単元時間×25 レッスン=25 単元時間
Lesson 1-25	①導入 言語の働き／発音との関連	②基礎定着 文法との関連	③発展 言語使用場面との関連

Grammar Guide ①～⑧・・・4 単元時間

スピーチ・パラグラフ・ディスカッション・プレゼンテーション・・・4 単元時間

COMMUNICATION TIPS ①～④・・・3 単元時間

場面別英語表現 Scene 1～9・・・9 単元時間

合計 70 単元時間